



## 前回実績データ



リアル会場（会期：2022年3月9日[水]～12日[土] 会場：東京ビッグサイト）

### ●出展規模

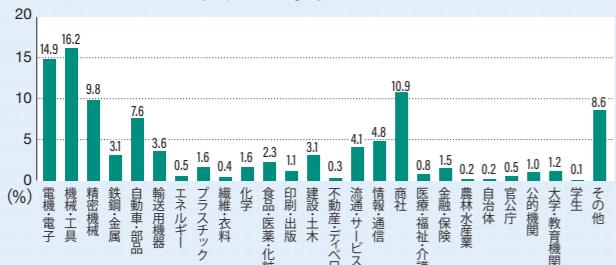
出展者数 **615** 社・団体

出展小間数 **3,227** 小間

うち海外出展者数 **49** 社・団体 **228** 小間 (15カ国・地域)

### ●来場者アンケート

#### Q1 あなたの所属先の業種は？



#### Q3 あなたの役職は？



オンライン会場（会期：2022年3月1日[火]～18日[金]）

出展者数 **106** 社・団体

うち海外出展者数 **20** 社・団体 **8** カ国・地域

### ●アクティブユーザー推移

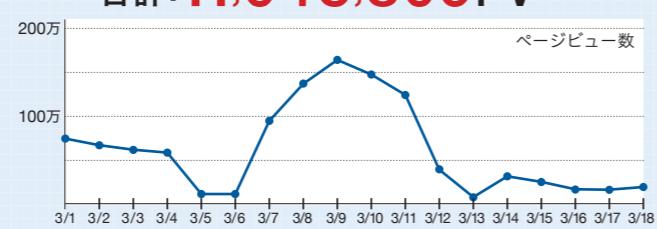
合計：**194,352** \*\*



※算出元：Googleアナリティクス®(www.irex.nikkan.co.jp) ※算出期間：2022年3月1日(火)～3月18日(金)

### ●ページビュー推移

合計：**11,045,809** PV\*\*



### お問い合わせ先

2023国際ロボット展事務局（日刊工業新聞社 イベント事業部内）  
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL:03-5644-7220

E-mail : info-irex@nikkan.tech

Webサイト : <https://irex.nikkan.co.jp/>



# 2023国際ロボット展

## INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023

ロボティクスがもたらす  
持続可能な社会



リアル会場

2023年**11月29日**水…**12月2日**土 **10:00**  
**17:00**

東京ビッグサイト 東1~8ホール 西3・4ホール



オンライン会場

2023年**11月22日**水…**12月15日**金 **10:00**  
**17:00**



© UDAGAWA YASUHITO 1998

出展のご案内

主催

一般社団法人 日本ロボット工業会

# ロボティクスがもたらす 持続可能な社会



POINT 1

## 世界最大級のロボットトレードショー

出展者数 **615** 社・団体  
2022年 実績  
出展小間数 **3,227** 小間

コロナ禍での開催にも関わらず、海外出展者は15カ国・地域/49社・団体、総来場者数は約6万人を超える、「世界最大規模のロボット専門展」として高い評価を得ております。



POINT 2

## 最先端ロボット技術・製品が集結 多彩な併催事業

国内外のロボットメーカーおよびロボット関連企業の最新技術・関連製品を一堂に展示し、新規ビジネスに直結する商談が行われます。各種フォーラムや出展者セミナーなど、多彩な併催事業を連日開催し、最先端のロボット・テクノロジーを世界に発信します。



POINT 3

## メディアの強みを生かした様々な プロモーションによる来場者誘致

新聞、専門誌をはじめ、デジタルメディア等の各種媒体を通して、ビジネスに直結するユーザー層の来場を誘致します。会期前には本展の特集記事を掲載し、会期中には会場の様子を連日紙面やWebで発信します。



POINT 4

## オンライン展示会「iREX ONLINE」 を今年も開催!

2022年に初めて実施した、オンライン展示会「iREX ONLINE」は、18日間の開催で約1,100万PVを達成しました。

前回、皆様からいただいたご意見を踏まえ、さらにパワーアップして実施いたします。 詳細はP10をご覧ください。



※画像は前回のものです。

名 称 | 2023国際ロボット展 [INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023 (iREX2023)]

開催趣旨 国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。

テ マ | ロボティクスがもたらす持続可能な社会 主 催 | 一般社団法人日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

会 期 | 2023年11月29日(水)~12月2日(土) 開催時間 | 10:00~17:00

会 場 | 東京ビッグサイト 東1~8、西3・4ホール 入 場 料 | 1,000円 ※入場登録者および招待状持参者、中学生以下は無料

同時開催展 | 洗浄総合展、VACUUM真空展、SAMPE Japan 先端材料技術展、高精度・難加工技術展、表面改質展

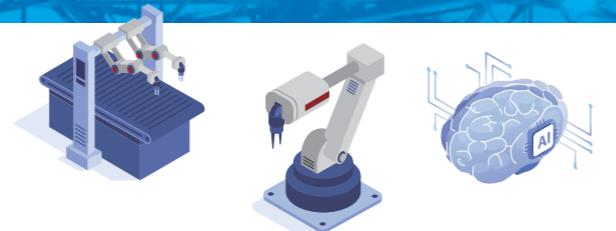
開催概要

国際ロボット展は1974年の初開催以降、隔年で開催し、今年で25回目を迎えます。近年では“世界最大規模のロボット専門展”として、国内外から高く評価されています。「2023国際ロボット展」は、人とロボットの共存・協働によるSDGsの達成を目指し、「ロボティクスがもたらす持続可能な社会」をテーマに開催いたします。会期中は、国内外の最先端のロボットやAI・ICT・要素技術などロボットに関わる高度な技術が一堂に展示されます。世界中のロボット関係者やユーザーが集う、「2023国際ロボット展」へのご出展を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本ロボット工業会 日刊工業新聞社

後 援	経済産業省 厚生労働省 国土交通省	総務省 文部科学省 日本商工会議所	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 日本貿易振興機構(JETRO) 日本放送協会(NHK)	(順不同、申請予定、法人格略)	
協 賛	計測自動制御学会 自動化推進協会 情報通信ネットワーク産業協会 製造科学技術センター 精密工学会 全日本プラスチック製品工業連合会 テクノエイド協会 日本アミューズメントマシン協会	日本機械工業連合会 日本金属プレス工業協会 日本クリーン環境推進機構 日本建設機械工業会 日本建設機械施工協会 日本工作機械工業会 日本産業機械工業会 日本自動車工業会	日本自動車部品工業会 日本食品機械工業会 日本鍛圧機械工業会 日本鉄鋼協会 日本建設機械施工協会 日本電気計測器工業会 日本工作機械工業会 日本産業機械工業会 日本自動車工業会	日本半導体製造装置協会 日本福祉用具・生活支援用具協会 日本福祉用具供給協会 日本物流システム機器協会 日本電気計測器工業会 日本電機工業会 日本電気制御機器工業会 日本自動車工業会	日本包装機械工業会 日本溶接協会 日本ロボット学会 マイクロマシンセンター ロボット革命・産業 IoTイニシアティブ協議会

## 産業用ロボットゾーン(IR)



### 各種製造用ロボットと応用システム

- 樹脂成形
- プレス
- 溶接
- 塗装
- 機械加工 (ロード・アンロード・切断・研磨・バリ取り)
- 組立
- 電子部品実装
- クリーンルーム

- 測定・検査・試験・認証
- 研究・開発・実証
- 入出荷
- マテリアルハンドリング・搬送
- 仕分け・ピッキング・包装
- AGV・AMR 他

### 要素技術・関連機器

- #### 駆動・センサ・制御系
- モータ
  - ジョイント
  - 油空圧機器
  - アクチュエータ
  - ロボットアーム、ハンド
  - 電気機器

- 搬送機器
- エンドエフェクタ
- センサ
- 認識技術(画像、音声、接触等)
- 変速機、減速機
- 計測機器 他

- #### 構成要素
- 歯車、ねじ
  - ケーブル
  - コンポーネント
  - 治具 他

- #### 人工知能(AI)
- ビッグデータ
  - クラウド
  - 機械学習・ディープラーニング
  - コントローラ
  - 制御コンピュータ
  - ソフトウェア
  - FA機器 他

## ロボットSler(ロボットシステムインテグレータ)ゾーン

- 開発・設計
- 保守・メンテナンス
- 工場向け
- 物流・小売業向け
- サービス業向け 他

## ロボットシミュレーション&ビジョンシステムゾーン(IRV)

### ロボットシミュレーション

- シミュレーションシステム
- シミュレーションソフト
- アプリケーションソフト
- ロボット教示システム
- 各種デジタル生産システム関連機器

### ビジョンシステム

- CAD
- CAM 他
- 画像処理機器
- 照明器・光源
- VR・AR
- CCDカメラ
- マイクロカメラ
- レンズ
- 画像認識装置
- 計測・解析システム
- 画像処理ソフト
- マシンビジョン 他

併催  
ゾーン

部品供給装置  
ゾーン

物流システム・ロボット  
ゾーン

詳細は、P6を  
ご覧ください。

# 出展対象・ゾーニング

## サービスロボットゾーン(SR)



### サービスロボット

#### 生活・暮らし

- 警備
- 受付・案内
- 接客
- 配膳、調理支援
- 清掃
- テレプレゼンス
- コミュニケーション
- エンターテインメント
- 物流・流通
- デリバリー
- AGV・AMR
- ドローン 他

#### 農林水産業・スマート農業・食品産業

- 作業支援(パワーアシスト)
- 自動走行・収穫
- 品質管理
- 除草
- ドローン
- 食品(包装、梱包)
- 調理・配膳 他

#### 人材育成・教育

- 教育
- 教材(プログラミング等)
- ロボット競技会
- 出版
- 翻訳 他

#### インフラ・災害対応・建設

- 検査、補修
- 探索
- 各種作業用 (原子力・電力・ガス・宇宙・海洋等)
- 土木・建設
- 研究開発
- ドローン 他

#### 介護・福祉・医療・健康

- 移動支援
- 移乗介助
- 入浴支援
- リハビリ支援
- 見守り
- 手術支援、手術シミュレーション
- コミュニケーション
- 感染症対策
- 検査
- スクリーニング 他

## 要素技術・関連機器

### 駆動・センサ・制御系

- モータ
- ジョイント
- 油空圧機器
- アクチュエータ
- ロボットアーム、ハンド
- 電気機器
- センサ
- 認識技術(画像、音声、接触等)
- 変速機、減速機
- エンドエフェクタ
- 計測機器 他

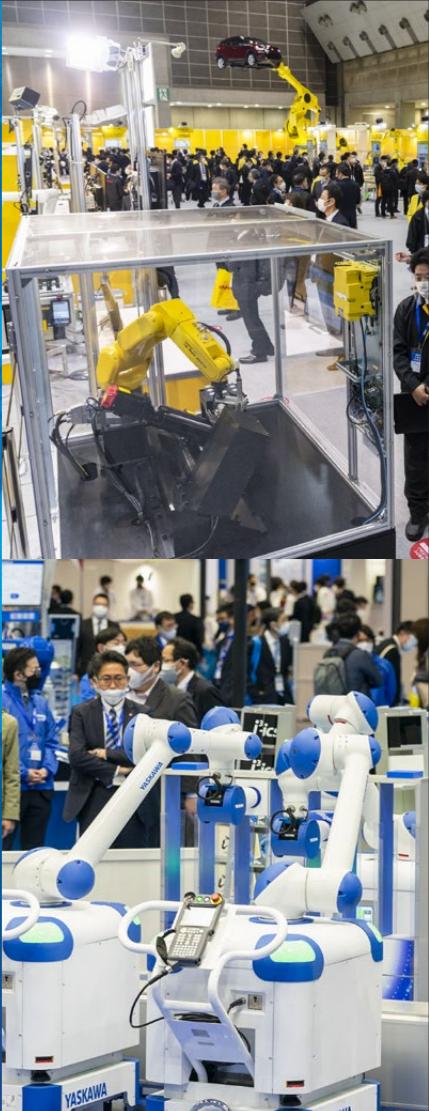
### 構成要素

- 歯車、ねじ
- ケーブル
- コンポーネント
- 治具 他
- ビッグデータ
- クラウド
- 機械学習・ディープラーニング
- FA機器 他
- 制御コンピュータ
- ソフトウェア

### 人工知能(AI)

### 次世代UI(ユーザーインターフェース)

- VR・AR
- ウェアラブル 他





## 併催ゾーン・企画

併催ゾーン

### 部品供給装置ゾーン

部品供給装置は、半世紀以上にわたりものづくりの自動化・省力化を支えてきました。ロボット連携も再注目される、その技術と発展を広く世間に評価いただく場として、ゾーン展開します。



出展対象

- 各種フィーダ
- パーツトレイ
- 各種移載装置
- エスケイプメント
- 各種部品供給システム
- パーツフィーダ用コントローラ
- 自動振込機
- 各種ホッパ
- ベルト搬送機器 他

主催 日本部品供給装置工業会  
日刊工業新聞社

### 物流システム・ロボットゾーン

物流業界では人手不足を背景に、ロボット・IoTを活用したマテハン機器の進化による、省人化・標準化が進んでいます。成長著しい市場との相乗効果を発揮すべく、ゾーン展開します。



出展対象

- 仕分け装置・ソーター
- AGV・GTP・AMR
- 包装機器・システム
- 搬送機器・システム
- 情報機器・システム
- 保管・ピッキングシステム
- ベルト搬送機器 他

主催 一般社団法人日本物流システム機器協会  
日刊工業新聞社

※ 物流システム・ロボットゾーンの申込方法は公式Webサイトをご覧ください。

併催企画

### つくる☆さわわる国際ロボット展

2017年からシリーズ化している本企画を引き続き実施予定です。  
工作教室やロボット体験など、幅広い年代層が楽しめる企画を検討中です。



土曜日  
限定!!

### ▶ 各種フォーラム・セミナーの開催

リアル会場(東京ビッグサイト)・オンライン会場、それぞれで魅力的なフォーラム・セミナー等を開催予定です。

2022年  
実績

『iREXロボットフォーラム』  
『NEDOロボット・AIフォーラム』

『スマート農業の新たな展開』  
『“ロボットフレンドリー”な環境の実現』



## メディア報道実績

国内外の多くのメディアにより「2022国際ロボット展」が報道されました。

### ▶ TV

日本テレビ	「news every.」「ZIP!」
フジテレビ	「FNN Live News α」
TBS	「ひるおび!」「NSTA!」
NHK	「NHKニュース」「おはよう日本」
Abema TV	「ABEMA Prime」
東京メトロポリタンテレビジョン	「news TOKYO FLAG」など



※画像はイメージです。

### ▶ 新聞/Web

日本物流新聞	日刊産業新聞	日刊自動車新聞	オートメーション新聞	電波新聞
Yahoo! ニュース	ITmedia NEWS	FNNプライムオンライン	日テレNEWS24	日経XTECH
東洋経済オンライン	GIZMODO	NewsPicks	ロボスタ	など



## 来場プロモーション(予定)

国内外に向けて、メディアの強みを最大限に生かした様々な来場プロモーション活動を行います。

### ▶ 新聞/専門誌

総合産業紙「日刊工業新聞」で本展を告知、来場動員を図ります。出展者の紹介、最新情報を掲載し、エンドユーザーの確実な来場につなげます。また各種専門誌で本展特集記事を掲載し、質の高い来場者層への積極的な告知を行います。



### ▶ Web/デジタルメディア

#### 国際ロボット展公式Webサイト

国際ロボット展公式Webサイト・特別サイトやSNS上で、展示会・フォーラム・シンポジウムや併催事業などの情報を随時発信します。公式Webサイト上では、出展者の企業情報、出展製品を掲載し、出展効果を高めます。



#### 日刊工業新聞電子版

「日刊工業新聞電子版」で、展示会やロボットの関連情報を連日掲載し、来場誘致を行います。

日刊工業新聞 電子版



#### ニュースイッチ

日刊工業新聞のニュースを分かりやすく配信し、幅広い層から支持を得ている「ニュースイッチ」で、本展の最新記事、およびロボットの旬なテーマを発信します。

ニュースイッチ  
NEWSWITCH



### ▶ DM・Eメール

日刊工業新聞社の展示会・セミナー・フォーラム受講者などをもとに構築したデータベースを活用し、約20万件にDM・Eメールでの来場案内を行います。



### ▶ ニュースリリース/プレス発表会

本展開催に関するニュースリリースを、国内外500社の報道機関に発信します。また、プレス発表会を開催し、各種メディア媒体に広くPRします。



※2019年の様子

### ▶ 招待状

本展の招待状を約100万部配布し、幅広い業種からの来場動員を図ります。また、英語の招待状も作成し、大使館、各国のロボット関連団体などを通じて本展の幅広い周知と来場誘致を行います。



### ▶ メディア広告

首都圏鉄道網を活用した車内・駅構内でのPR動画広告や主催者インタビューなどを実施し、幅広く来場者へ発信します。



### ▶ 海外プロモーション

海外関連団体、大使館の協力によりロボットユーザーを中心来場を誘致します。海外展示会で本展の周知・来場動員を行います。





## リアル展示 小間タイプ・料金

1小間(間口 2.97m × 奥行 2.97m × 高さ 2.7m : 約9 m<sup>2</sup>)につき下記の通りとします。

### ▶ 日本ロボット工業会

正会員	330,000円(税込)
準会員(Sler協会会員)	374,000円(税込)
賛助(法人)会員	374,000円(税込)

※会員種別については、(一社)日本ロボット工業会のWebサイトでご確認ください。

<https://www.jara.jp/about/index.html>



### ▶ 一般、自治体・公共機関

一般	440,000円(税込)
自治体・公共機関	374,000円(税込)

### ▶ 日本部品供給装置工業会

会員	330,000円(税込)
----	--------------

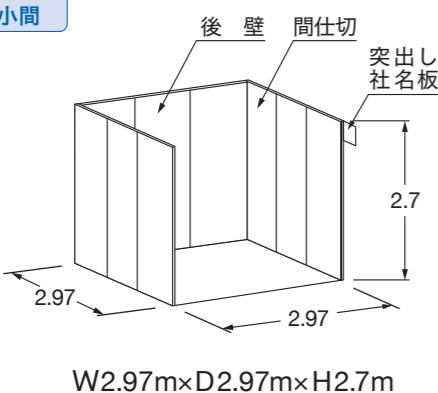
### ▶ 日本物流システム機器協会

会員	374,000円(税込)
----	--------------

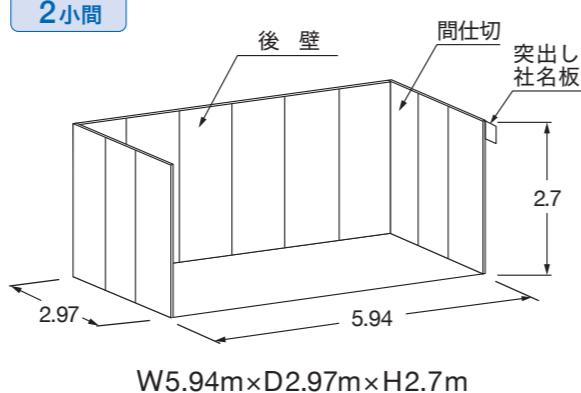
小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定いたします。  
小間位置は出展者説明会(2023年7月を予定)にて出展者に発表します。

#### 横列小間

##### 1小間



##### 2小間

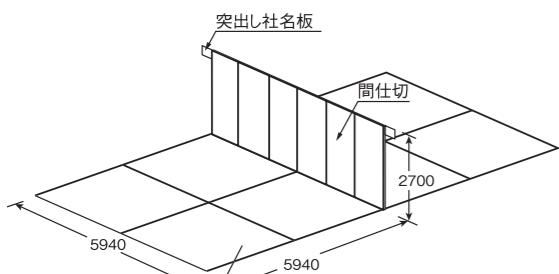


- 後壁、間仕切、突出し社名板を設けます。
- 後壁、間仕切はシステムパネル白色仕上げです。

- カド小間の場合、通路側の間仕切は、出展者からの申し出がない限り設けません。
- 後壁の取り外しは、隣接小間の有無に関わらず原則としてできません。

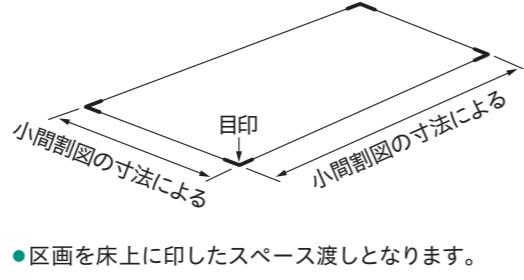
#### 複列小間

##### 4小間以上の偶数小間



- 間仕切、突出し社名板を設けます。
- 間仕切は、システムパネル白色仕上げです。

##### 原則50小間以上



- 区画を床上に印したスペース渡しとなります。
- 突出し社名板は事務局より小間の装飾完成後、見やすい位置に取り付けます。

※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はついておりません。



## パッケージブース

参考:1小間基本パッケージ

※詳細・申込方法は出展者説明会でご案内いたします。

### ▶ 1小間基本パッケージ

93,500円(税込)

2小間以上のパッケージ  
ブースもご用意しています。  
料金・詳細は出展者説明会でご案内いたします。



### ▶ 1小間基本パッケージ設備

パンチカーペット	一式
パラペット・社名プレート	一式
受付カウンター	W1800×H300
貴名受	1台
パイプ椅子	1脚
LED照明(蛍光灯)	21W
2口コンセント	2灯
電気幹線工事・電気使用料	1個
	1kW

※1kWを超える場合は別途電気工事をお申し込みいただきます。

※基本パッケージは角小間でも社名プレートは1枚です。

※基本パッケージはパンチカーペットの色が選択可能です。



## 出展者セミナー(有料)

出展者による製品・技術説明会など自由な発表の場を提供します。

会場 「2023国際ロボット展」内 特設会場

定員 100名(予定)

備品 演台、PC、プロジェクター、マイク、スクリーン、椅子

料金 1セッション 165,000円(税込)

時間 1セッション 40分 以内(質疑応答を含む)

### ▶ タイムスケジュール

11月29日(水)	11月30日(木)	12月1日(金)	12月2日(土)
10:30~11:10 A	G	M	S
11:30~12:10 B	H	N	T
12:30~13:10 C	I	O	U
13:30~14:10 D	J	P	V
14:30~15:10 E	K	Q	W
15:30~16:10 F	L	R	X

#### 注意事項

- 発表企業・団体は、「2023国際ロボット展」の出展者に限ります。
- 申込受付は先着順とし、タイムスケジュールは事務局で調整します。
- 配布資料等は発表者で準備してください。
- 聴講料は無料とさせていただきます。

申込期限

2023年4月28日(金)

募集枠に達し次第、締め切りとなります



## 感染症対策について(予定)

日本展示会協会のガイドライン等を参考に、本展では以下の感染症対策の実施を予定しています。

- 関係者・来場者へのマスク着用徹底、手洗い・手指消毒の声掛け
- 会場入口での検温実施、会場内の定期的な換気
- 待機列等でソーシャルディスタンスを保つための各種表示の設置 など
- その他、東京ビッグサイトが定めるガイドラインに基づいた各種対策を行います。

※新型コロナウイルス感染状況によって、対策内容は変動します。



検温実施



除菌・消毒



フィジカル  
ディスタンス



マスク着用





## 出展申込要領

### ○出展申込方法

出展申込書(別添)に必要事項をご記入のうえ、事務局へメール添付または郵送でお送りください。  
出展申込書の内容を確認後、請求書(PDF)をメールでお送りいたします。

の場合 irex-apply@nikkan.tech

の場合 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1  
日刊工業新聞社 イベント事業部『2023国際ロボット展』事務局

リアル展示	出展申込期限 <b>2023年4月28日(金)</b>	オンライン展示	出展申込期限 <b>2023年7月31日(月)</b> 最終 <b>2023年10月31日(火)</b>
	出展料金支払期限 <b>2023年5月31日(水)</b>		※一次期限までにお申し込みいただくと招待状に掲載されます。 出展料金支払期限 <b>2023年8月31日(木)</b> 最終 <b>2023年11月30日(木)</b>

※会場収容力や申込状況などを考慮し、出展小間数を調整させていただく場合があります。  
※予定小間数に達した場合、申込期限前でも締め切らせていただきます。

### ○出展契約の変更または取り消し

既に申し込まれた小間(リアル展示)またはプラン(オンライン展示)に対する変更もしくは取り消しをする場合は、全て文書にてその理由を明記し、事務局の承認を得てください。出展を取り消された場合、下記の通りキャンセル料金を申し受けます。

※リアル・オンラインを申し込まれて、リアルのみ出展を取り消された場合、オンライン出展については「オンライン出展のみ」の料金で再度ご請求いたします。

リアル展示	申込書受理日から 出展者説明会前日まで	出展料金の <b>50%</b>	オンライン展示	申込書受理日から 2023年7月31日(月)まで	お申し込み料金の <b>50%</b>
	出展者説明会 当日以降	出展料金の <b>100%</b>		2023年8月1日(火) 以降	お申し込み料金の <b>100%</b>

※「お申し込み料金」は、オンラインブース出展料金・ウェビナー実施料金・各種オプション料金を含みます。

### ○小間位置について

リアル展示のみ

小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定いたします。小間位置は出展者説明会(2023年7月予定)にて出展者に発表します。



## 開催までのスケジュール(予定)

リアル展示	出展申込期限 <b>2023年4月28日(金)</b>	出展者説明会 <b>7月(予定)</b>	諸届け提出期限 <b>9月下旬</b>	搬入・装飾施工 <b>11月26日(日) 28日(火)</b>	会期 <b>11月29日(水) 12月2日(土)</b>	搬出・撤去 <b>12月2日(土)17時 3日(日)午前中</b>
オンライン展示	一次申込期限 <b>2023年7月31日(月)</b>	出展者説明会 <b>9月(予定)</b>	オンラインブース情報登録開始 <b>10月初旬(予定)</b>	最終申込期限 <b>10月31日(火)</b>	会期 <b>11月22日(水) 12月15日(金)</b>	出展者専用サイト閲覧期限 <b>12月27日(水)</b>



## リアル展示についてのFAQ

### ○出展について

Q 出展ゾーンの選択について(申込書「項目①」)

A 出展ゾーンは任意でお選びいただけます。  
基本的には展示製品・サービスをPRしたい分野に合わせてご選択いただくことをおすすめします。

Q 共同出展者の申請方法について(申込書「項目③」)

A 申込書で「共同出展者あり」にチェックしてください。別途、共同出展者情報入力フォーマットをお送りします。自治体・団体で参加される場合も同様に対応可能です。

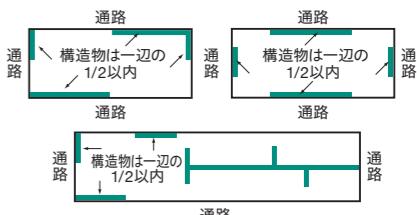
### ○小間装飾について

Q 出展料金に含まれるものとは?

A スペース、および隣接小間との間仕切、後壁、突出し社名板のみのご提供となります。(電源・照明・カーペット等はついておりません。)カド小間の場合、通路側の間仕切はありません。(島小間の壁面はありません。)

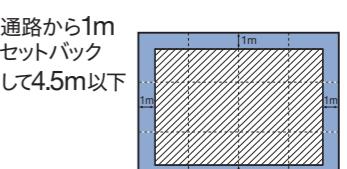
Q 全面壁の規定は?

A 他社と向かい合う通路側に構造物(壁面)などを制作する場合、構造物の寸法(幅)は小間寸法の1/2以内とします。残る1/2は見通しのきく構造(ガラス窓、ルーバー、パラペット、高さ90cm以下の壁面、棚など)としてください。



□ 2.7m以下 ■ 3.6m以下 ▨ 4.5m以下

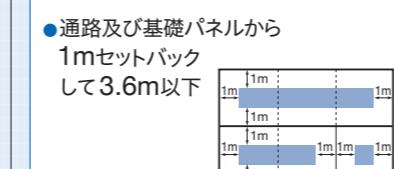
島小間 基本3.6m以下



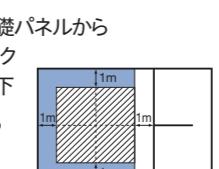
※展示物については、高さ制限はありません。

Q 装飾物の高さ規定は?

A 横列小間 基本2.7m以下



複列小間 基本3.6m以下



(2022年10月時点)



## 2023国際ロボット展 運営・実行組織

### ○運営委員会

委員長	橋本 康彦	川崎重工業株式会社	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者
委員	富士原 寛	一般社団法人日本ロボット工業会	専務理事
委員	饒波 正紀	株式会社日刊工業新聞社	取締役 総合事業局長

### ○実行委員会

委員長	稻葉 清典	ファナック株式会社	専務執行役員 ロボット事業本部長
委員	牧田 幹彦	川崎重工業株式会社	ロボットディビジョン グローバル戦略部 営業企画課 課長
委員	福田 尚幸	株式会社デンソーウエーブ	セールスマーケティング統括本部 マーケティング本部 営業企画部 企画2室 担当次長
委員	服部 祐人	トヨタ自動車株式会社	未来創生センター R-フロンティア部 ダイナミクロボティクスグループ 主幹
委員	久保田 裕昭	ファナック株式会社	ロボットアプリケーション技術本部 アプリケーション技術一部 部長
委員	河越 克己	株式会社不二越	ロボット事業部 ロボット企画 部長
委員	安藤 健	パナソニックホールディングス株式会社	マニュファクチャリングインベーション本部 ロボティクス推進室 室長
委員	菅原 陸	三菱電機株式会社	機器計画部 FAソリューション企画グループ
委員	守田 隆一	株式会社安川電機	ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 課長
委員	齊藤 直樹	ヤマハ発動機株式会社	ロボティクス事業部 営業統括部 FA営業部 営業企画グループ
委員	辻 直樹	株式会社ユーシン精機	執行役員 広報室 責任者
委員	矢内 重章	一般社団法人日本ロボット工業会	事務局長
委員	林 英雄	株式会社日刊工業新聞社	総合事業局長 兼 イベント事業部長
事務局	清水 信好	一般社団法人日本ロボット工業会	業務部長
事務局	坂本 啓司	一般社団法人日本ロボット工業会	業務部 主任
事務局	松井 里奈	株式会社日刊工業新聞社	総合事業局 イベント事業部 副部長
事務局	武田 尚人	株式会社日刊工業新聞社	総合事業局 イベント事業部
事務局	葺石 万裕子	株式会社日刊工業新聞社	総合事業局 イベント事業部 海外担当
事務局	北川 航也	株式会社日刊工業新聞社	総合事業局 イベント事業部 オンライン担当

# 2022年出展者一覧

## リアル出展者

※印は共同出展者 ★印はオンラインにも出展

あ

アーク

アールティ

アイエイアイ

IHI物流産業システム

iCOM技研

アイシーハウス/テクタイト

愛知県 東三河5市

※愛知県蒲郡市

※愛知県新城市

※愛知県田原市

※愛知県豊川市

※愛知県豊橋市

愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科

愛知産業

★ IDEC

※IDECファクトリーソリューションズ

i-RooBO Network Forum

※クラボウ

朝日新聞社

アサ電子工業

アジアリ

アスク

アステクノス

★ アセントロボティクス

アライネット

★ イーティーエイコンポーネンツ

伊勢崎市

※オーテック

※システム

伊藤忠マシンテクノス

★ 伊東電機

★ 因幡電機産業

イノフィス/東京理科大学

★ エイチ・アイ・デー

HCI

HBA

ATI Industrial Automation

エイテック

エクササイズ

エスアンドエフ

※Güdel

SMC

SKG

SKマシナリー

SUS

★ Edgecrossコンソーシアム

※アナログ・テック

※アマゾンウェブサービスジャパン

※伊藤忠テクノソリューションズ

※ウイングアーク1st

※FAプロダクツ

※Empress Software Japan

※オムロン

※智頭電機

※トレンドマイクロ

※日本電気

※三菱電機

※三菱電機インフォメーションシステムズ

★ NOK

NTTテクニカルサービス

NTTコミュニケーションズ

エヌティック

FA・ロボットシステムインテグレータ協会

★ エプソン販売/セイコーエプソン

オーフラ輸送機

大田区産業振興協会

大羽精研

オーム電機

★ オカムラ

小川コンベヤ

★ 沖電線

荻野製作所

小倉クラッチ

OSARO

★ オムロン

ORiN協議会

OnRobot Japan

か

科学情報出版

カットランドジャパン

★ 神奈川工科大学

金子コード

加茂精工

★ 川崎重工業

★ カワダロボティクス

カンタム・ウシカタ  
Keenon Robotics

★ 北川鉄工所  
北九州ロボットフォーラム/北九州産業学術推進機構  
※石川鉄工所  
※九州工業大学 柴田研究室  
※九州工業大学 フィールドロボット研究室  
※九州工業大学 脇迫研究室

キトー  
木村铸造所  
木村洋行  
九州工業大学・産業技術総合研究所(JST START) 京セラ

Kyoto Robotics  
KUKA Japan  
GUGEN

グッドファクトリーショップ  
★ シチズンマシナリー

国盛化学  
★ クリエイティブテクノロジー

クロイツ  
クローサー

★ ケーメックスONE  
KEBA Japan  
光進電気工業

甲府精紙  
神戸高専ロボティクス  
興和オブロニクス

※テックマイク  
コーウェック  
★ コスマック

小原歎車工業  
小森安全機研究所

近藤科学  
近藤製作所  
コンパム

さ

★ SATECH  
サーボロボット・ジャパン  
さがみはらロボットビジネス協議会

※愛知産業  
※F-Design

※クフウシャ  
※ピット・トレード・ワン  
※メディアロボティック

※MEMOテクノス  
佐鳥電機

サンエック  
産機

三共製作所  
三桂製作所

三洲電線  
三徳コーポレーション

三松  
三明機工

★ 山洋電気  
ciRobotics  
※ケーティーエス

★ CKD  
※CKD日機電装

Zivid  
ジェーピーエムエンジニアリング

シェフラー・ジャパン  
Shenzhen Yuejiang Technology (DOBOT)

シチズンマイクロ  
自動化推進協会

★ シナノケンシ  
芝浦機械

ジャパンマグネット  
Shanghai Seer Intelligent Technology

※+Automation

★ シュマルツ  
シュメアザール

★ シュンク・ジャパン  
信越化学工業

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

人機一体  
新興技術研究所

新光電子  
新東工業

新東スマートエンジニアリング  
シンフォニアテクノロジー

進和/JAKA Robotics  
スーパーファクトリー

スガツネ工業  
スター精機 アインツ事業部

スターテクノ  
Standard Robots

★ 住友重機械工業 PTC事業部  
住友重機械工業 メカトロニクス事業部

★ 住友商事マシネックス  
※Doosan Robotics

西研グラフィックス  
西部電機

ZMP

ゼネtek  
センコアードバンス

★ ソフィックス  
ソフト産業プラザTEQS(大阪産業局)

★ SOLIZE  
ソラリス

★ ソリッドワークス・ジャパン  
SOLOMON Technology

た

第9回ロボット大賞合同展示  
タイコエレクトロニクスジャパン/TE Connectivity

★ 大電  
★ ダイドー

ダイフク  
ダイヘン

大和電業  
Taiwan Automation Intelligence and Robotics Association(TAIROA)

※LNC Technology

高丸工業  
匠

タツタ  
タツタ立井電線

中央大学 中村研究室  
中国ロボット産業連盟(CRIA)

TsukArm Robotics  
筑波大学 モーションコントロール研究室

椿本チエイン  
ティック

DSMエンジニアリングマテリアルズ

★ THK  
DMカードジャパン

TechShare/Shenzhen Yuejiang Technology (DOBOT)

Techman Robot

★ ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)  
東京都立産業技術研究センター

東京ロボティクス

東野精機  
東北エンタープライズ

東和コーポレーション

★ トーカードエナジー  
Doog

トピー・テクノロジー  
トライエンジニアリング

Troaxセーフティシステムズ

な

中西金属工業  
ナノコート・ティーエス

★ ナブテスコ  
鍋屋バイテック会社

★ ナベル  
南陽

ニコン  
ニコン・トリニブル

日栄機工/★ NEURA Robotics  
ニチコン

ニ伝  
★ ニッセイ  
日特コーセイ

★ 日本精工  
日本トムソン

日本ペアリング

日本クラビス  
日本航空電子工業

日本ジッパーチュービング  
日本製図器工業

★ 日本電産シンボ  
※日本電産コバル電子

日本認証  
※セーフティグローバル推進機構

日本バイナリー  
日本物流システム機器協会

日本部品供給装置工業会  
※NTNテクニカルサービス

★ 大阪精工  
※共進精器

★ ケイピーエフ

※産機  
※信和パーツ  
※セントラル工業  
※ダイシン  
※ナックフィーディング  
※日特コーセイ  
※ハヤシレピック  
※村田精工

日本包装機械工業会

日本ロボット工業会

ニュースダイジット社

ニュームディア開発協会 AVATARテレポーター